

2023年(令和5年)2月オホーツク管内倒産集計

2023年3月3日

株式会社 東亜リサーチ

北見市北6条西5丁目1番地

Tel (0157) 23 - 6288

Fax (0157) 24 - 1033

2か月ぶりの発生 累計件数、負債総額ともに前年上回る

発生件数1件、負債総額7,000万円

■前月比	件数	1件増加(令和5年 1月	0件)
	負債総額	7,000万円増加("	0円)
<hr/>			
■前年同月比	件数	1件増加(令和4年 2月	0件)
	負債総額	7,000万円増加("	0円)

2023年2月の発生状況

2023年2月のオホーツク管内における倒産整理企業(負債総額1,000万円以上・内整理を含む)は、発生が1件、負債総額は7,000万円だった。これは発生がなかった前月及び前年同月と比べると皆増。

当月の1件はスノーラビット(有)(北見市・衣料品店)。売上減少が要因となり、釧路地裁北見支部から破産手続開始決定をうけたもので、昨年12月以来、2か月ぶりの発生となった。

過去5年間の2月の発生状況を見てみると18年ゼロ件、19年1件、20年2件、21年2件、22年ゼロ件の推移となっており、平均発生件数は1.0件、同負債総額は1億6,360万円。今年は件数及び負債総額ともに平均値内に止まっており、引き続き低水準を保った。

2023年1～2月の発生累計

今年1～2月の累計発生件数は1件、負債総額は7,000万円。前年同期間と比べると皆増となった。

過去5年間の発生推移は【右・表】の通りで、平均発生件数は1.4件、同負債総額は1億9,380万円。今年は件数、負債総額ともに平均値を下回り、件数は発生のなかった18年と22年に次いで2番目、負債総額は21年と同数で2番目に少ないの数値となっている。

過去5年間と今年1～2月の件数・負債額

年 別	件 数	負 債 額
2018年	0件	0円
2019年	2件	1億4,100万円
2020年	3件	7億5,800万円
2021年	2件	7,000万円
2022年	0件	0円
2022年	1件	7,000万円

今後の見通しと問題点

管内各地の冬期イベントが3年ぶりで再開されたほか、飲食を伴う会合なども本格的に行われているなどコロナ禍の影響は徐々に薄れており、観光・飲食業の需要が回復しているのは好材料となっている。

しかし、1～2月の建築確認申請件数を見ると前年を下回っているなど資材の高騰やローン金利の上昇の影響などから住宅建設は落ち込んでいる。加えて原油や輸入原材料の高騰、円安によるコスト上昇を販売価格に転嫁できずに苦慮している業種は多い。人手不足も深刻化しており、従業員を確保できない企業は商機を失い事業継続が困難となることも予想される。

管内倒産件数は抑えられているが、コロナ禍によって借入したゼロゼロ融資の返済が本格化する6月以降、業績が回復していない企業を中心に経営が行き詰まることが予想されるため、倒産件数は増加を辿る可能性は高く、今後の倒産動向が気に掛かる。

